

2021年7月15日
有限会社 大平技研

横浜赤レンガ倉庫でこの夏初開催

赤レンガ・アートプラネタリウム「星と歩く」

無数の星に包まれる非日常空間で新しい体験を

有限会社大平技研(本社:神奈川県横浜市、代表取締役:大平貴之、以下大平技研)は横浜赤レンガ倉庫1号館(住所:神奈川県横浜市、館長:小野晋司、以下赤レンガ倉庫)と共に、『赤レンガ・アートプラネタリウム「星と歩く」』を2021年7月22日(木・祝)～8月18日(水)の日程で開催致します。

プラネタリウムマシン「MEGASTAR-II」と、プロジェクター複数台から投影される大平貴之製作の最新の映像表現により、星と海が交差する、他にはない特殊空間を創り出します。

.....

プラネタリウムマシン「MEGASTAR-II」が映し出す1000万の星々が奏でる時間は、360度常にある無数の星の存在とともに宇宙が私達の住処であることを気づかせてくれます。壮大な宇<コスモス>と悠久の宙<過去・現在・未来>。プラネタリウム・クリエイター 大平貴之によって生み出された次世代プラネタリウムと最新の映像表現による風景<横浜、波、魚の群れ、太陽と月、オーロラ、流星群...>が繰り広げる時空に、宇宙の深淵に耳を澄ませ地球上の存在のかすかな声を聞き分けるような感覚が訪れることでしょう。さらに会期中の平日(最終回)には、音楽とダンスの第一線で活躍するアーティストのライブパフォーマンスを展開して、コロナ禍の影響下にある<いま・ここ>を映し出します。宇宙の無限の広がりにも包まれる非日常空間で、輝く星とともに歩き出す新しい体験をお楽しみください。

.....



【赤レンガ・アートプラネタリウム「星と歩く」】

プラネタリウム／映像製作：大平貴之(大平技研)

ナレーション：森山未来

音楽：エリック・アロン Eric Aron

坂本美雨、U-zhaan、伊藤キム等が平日の最終回(18:00～18:30)限定でライブパフォーマンス

<ダンス> 伊藤キム、鈴木ユキオ、奥野美和

<音楽> 坂本美雨(ボーカル)、U-zhaan(タブラ)、石川高(笙)、宮川純(ハモンドオルガン)

会期：2021年7月22日(木・祝)～8月18日(水)の28日間

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館 3F ホール

主催・企画・制作：横浜赤レンガ倉庫1号館、大平技研

協力：KOBAYASHI PRODUCE INC.



Ohira Tech



開催時間：1日7回

①11:00～11:30 ②12:00～12:30 ③13:00～13:30(①～③の回は未就学児も入場いただけます／無料)

④15:00～15:30 ⑤16:00～16:30 ⑥17:00～17:30 ⑦18:00～18:30(④～⑦の回は未就学児入場不可)

※各上演開始時間の15分前に受付開始／5分前開場／上演中の途中入場不可／会場内は飲食禁止

チケット料金：小学生以上 1,000円(消費税込み)

取扱：Peatix art-planetarium.peatix.com



前売開始：7月15日(木)13:00～(前日の23:59まで取扱)

当日券：開催当日10:45より販売(13:30～14:45は休憩のため購入できません)

イベント Web サイト：akarenga.yafjp.org/event/art-planetarium/

ご来場の際して:

○新型コロナウイルス感染予防のため「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」(<https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/bunka/bunkashisetsu/default20200528.html>)に沿って開催します。

○会場入り口にてすべてのお客様の検温を行います。

○お客様にマスクの着用を徹底いただき、施設入館時の手指の消毒を行っていただきます。

○飛沫感染防止のため、会場内では大声を出さず会話は最低限に留めていただくようお願いします。

<プラネタリウムマシンの紹介>

●MEGASTAR-II(プラネタリウム投影)

プラネタリウム・クリエイター、大平貴之の個人開発によって生み出された超高精細な星空を投影できる移動型光学式プラネタリウムで1000万個の星を投影可能。人間の視力では見分けられないけれども、確かにそこに存在して輝いている小さな星の一粒一粒。そのようなかすかな存在までも忠実に映し出すことによって、本物の星空が持つ奥行きと広がりを実現する。日本科学未来館に設置されている3号機「MEGASTAR-II cosmos」は、2004年に「世界で最も先進的なプラネタリウム」としてギネスブックに認定。大平技研が保有する3機は、パリオレの演出や国内外のイベントで使われている他、ユーミン、BUMP OF CHICKEN、ゆず等のコンサートやミュージックビデオの演出等でも使われている。



業務用の MEGASTAR シリーズは世界 13ヶ国の科学館や施設に設置されている。

<https://www.megastar.jp/>

<クリエイター／アーティストの紹介>

●大平貴之 (プラネタリウム／映像製作)

プラネタリウム・クリエイター。大学時代に個人製作で世界初となるレンズ式プラネタリウムの開発に成功。1998年、従来の100倍以上の星を映す「MEGASTAR」を発表。2004年、「MEGASTAR-II cosmos」がギネスワールドレコーズに認定された。セガトイズと共同開発した世界初の光学式家庭用プラネタリウム「HOMESTAR」シリーズは170万台(2021年2月時点)を超える大ヒット商品に。国内外への MEGASTAR 設置のほか、イベントプロデュースや音楽、アートとのコラボなどを積極的に行い、プラネタリウムの新機軸を確立している。文部科学大臣表彰科学技術賞等受賞多数。信条は、「人間は可能は証明できるが不可能は証明できない」。有限会社大平技研 代表取締役。



<https://www.megastar.jp/about/#ohira>

●森山未来（ナレーション）

1984 年生まれ、兵庫県出身。ダンス、演劇、映像等、カテゴライズに縛られない表現者として活動。近作として、映画「アンダードッグ」「ボクたちはみんな大人になれなかった」(2021 年 Netflix 配信予定)、NHK大河ドラマ『いだてん～東京オリムピック噺～』、ショートフィルム「Delivery Health」「in-side-out」(監督作品)、笠井叡ダンス公演「櫻の樹の下には」、清水寺奉納パフォーマンス「Re:Incarnation」(総合演出、出演)、舞台「未練の幽霊と怪物」「なむはむだはむ」等。ポスト舞踏派。

miraimoriyama.com



photo: Takeshi Miyamoto

●Eric Aron（音楽）

作曲家・ピアニスト・即興演奏家。フランス出身。幼少からクラシックピアノに触れ、フランスのコンセルヴァトワール(高等音楽院)を卒業。クラシックからヒーリング、エレクトロミュージックまで幅広く手掛け、数百の楽曲を CM やテレビ番組に提供している。完全即興のソロピアノコンサートでは、全く白紙の状態からステージを始めることのできる稀有な演奏家である。近年では、MEGASTAR からインスピレーションを得て「MEGASTAR Symphonies」を作曲。大平貴之が制作したプラネタリウム番組の音楽を数多く担当している。MEGASTAR とのコラボコンサートでは、視覚と音楽との相乗効果を狙った新たなジャンルに取り組んでいる。

<http://www.ericaron.com/>

<https://www.youtube.com/channel/UCNo4CWF4NXY9J5nTd3EJ1xg>



●奥野美和（7/26、8/6 のパフォーマンス）

2009 年よりソロ活動を開始し、骨と肉の存在に重点をおいた独自のメソッドを軸に振付を行い国内外にて活動。横浜ダンスコレクション EX2013 にて若手振付家のための在日フランス大使館賞・MASDANZA 賞、同年 MASDANZA18(スペイン)にて審査員賞を受賞。2017 年東京藝術大学先端芸術表現専攻にてギャラリー等の舞台空間に限らない身体表現を研究する。近年、カナダ人の女優・演出家マリー・ブラッサールによる作品「この熱き私の激情」(2017)、「Violence」(2021)に参加する等演劇作品への出演にも挑戦する。

miwaokuno.com/



photo: Mariko Miura

鈴木ユキオ (7/27、8/13 のパフォーマンス)

「YUKIO SUZUKI projects」代表／振付家・ダンサー。世界 40 都市を超える地域で活動を展開し、しなやかに繊細に、空間からはみだすような強靱な身体・ダンスは、多くの観客を魅了している。また、室伏鴻・中村恩恵の作品出演、音楽家との共同制作やワークショップ等、活動は多岐に渡る。2008 年にトヨタコレオグラフィーアワードで「次代を担う振付家賞(グランプリ)」受賞。2012 年フランス・パリ市立劇場「Danse Elargie」では 10 組のファイナリストに選ばれた。

suzu3.com/



photo: bozzo

宮川純 (7/28、8/4 のパフォーマンス)

Piano, Hammond Organ, Synthesizer 等多様な鍵盤楽器を巧みに操り Jazz, R&B, Soul, Pops と幅広いフィールドで活動するが、それぞれの音楽のルーツ、楽器の特性と深く向き合い、芯のあるグルーヴィーなプレイで世代やジャンルを越え多くの共演者からの厚い信頼を得ている。これまで 3 枚のソロアルバムも発表しており、作編曲能力への評価も高い。現在は Takuya Kuroda aTak Band、荒田洸(Wonk)、ものんくる、kiki vivi lily、大和田慧、IO(Kandytown)、millennium parade、坂上太一 trio、大野雄二 & Lupintic 6、等のライブやレコーディング等で活動中。

jun-miyakawa.com/

**伊藤キム (7/29、8/16 のパフォーマンス)**

フィジカルシアターカンパニーGERO 主宰。1987 年舞踏家・古川あんに師事。1995 年「伊藤キム+輝く未来」結成、国内外で公演を行う。1996 年フランス・バニョレ国際振付賞、2002 年第一回朝日舞台芸術賞・寺山修司賞、2008 年横浜文化賞奨励賞。2005 年にバックパックを背負って半年間の世界一周の旅に出る。おやじが踊って給仕する「おやじカフェ」のプロデュースを国内外で行う。2015 年新カンパニーGERO を結成。子どもや一般市民へのワークショップも多数。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。かなっくホール(横浜市神奈川区)レジデンスアーティスト。

gero.kim/



photo: Hajime Koizumi

石川 高 (7/30、8/5 のパフォーマンス)

宮田まゆみ、豊英秋、芝祐靖各氏に師事し、雅楽の笙と歌謡を学ぶ。1990 年より笙の演奏活動をはじめ、国内、世界中の音楽祭に出演してきた。雅楽団体「伶楽舎」に所属している。笙の独奏者としても、様々な音楽家、作曲家と共に活動し、即興演奏も行っている。和光大学、学習院大学、沖縄県立芸術大学にて非常勤講師、朝日カルチャーセンター新宿教室で「古代歌謡講座」を担当。

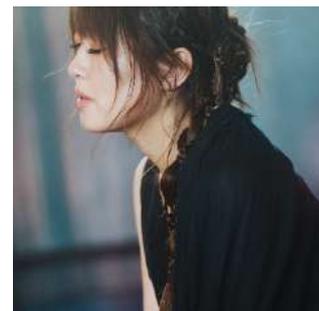
aurora-argentea.bandcamp.com/



坂本美雨 (8/2、8/3 のパフォーマンス)

1980年、音楽一家に生まれ、東京とNYで育つ。1997年歌手デビュー。音楽活動に加え、執筆、ナレーション、演劇等表現の幅を広げ、TOKYO FM 他全国ネットの「ディアフレンズ」のパーソナリティを2011年より担当。村上春樹さんのラジオ番組「村上 RADIO」でもDJを務める。2020年、「おお雨(おおはた雄一+坂本美雨)」待望のアルバム「よるこびあうことは」を発表。森山開次演出舞台「星の王子さま-サン=テグジュペリからの手紙」に出演。著書「ネコの吸い方」や愛猫サバ美が話題となる等、“ネコの人”としても知られる。一児の母であり、猫と娘との暮らしも日々綴っている。

miuskmt.com/

**U-zhaan (8/11、8/12 のパフォーマンス)**

オニンド・チャタルジー、ザキール・フセインの両氏からインドの打楽器「タブラ」を師事。2000年よりASA-CHANG&巡礼に加入し、「花」「影の無いヒト」等4枚のアルバムを発表。2014年にはソロ名義のアルバム「Tabla Rock Mountain」を発表した。2017年に蓮沼執太との共作アルバム「2 Tone」をリリース。2020年にインド・アーメダバードで開催されたインド音楽フェス「Saptak Annual Festival of Music」に出演した。2021年、U-zhaan × 環 ROY × 鎮座 DOPENESS によるアルバム「たのしみ」をリリース。

u-zhaan.com/

**【本イベントに関するお問い合わせ先】**

横浜赤レンガ倉庫1号館 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

館長: 小野 晋司 | 広報担当: 中祖 杏奈、谷 峻哉

TEL: 045-211-1515 FAX: 045-211-1519 E-mail: yrbw_1@yaf.or.jp

URL: <https://akarenga.yafjp.org/>

【大平技研に関するお問い合わせ先】

(有)大平技研 企画広報ディレクター&国際ビジネスマーケティング 大渡恵子
フランス駐在(日本との時差-7時間のため、ご返信が遅くなる場合があります)

E-mail: pub@megastar.jp (全角を半角に変えて送信してください)

Mobile: 080-1084-7367 (WhatsApp 等のアプリで無料通話可能)

本社: 〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4489-1

TEL: 045-507-3531 FAX: 045-507-3532

URL: <https://www.megastar.jp/>